国際先導研究 審査結果の所見

課題番号	23K20033
研究課題名	普遍的価値と集合的記憶を踏まえた国際和解学の探究
研究代表者	浅野 豊美
審査結果の所見	本研究課題は、紛争処理やその認識に関する既存の学問成果の上に、さらにそれにとどまらない普遍的な枠組みを設定し、複数の学問的方法を連関させた「和解学」の国際ネットワークを確立するものである。大変意欲的であり、実施計画も「新領域学術研究」の実績に基づいてよく練り上げられているため、研究期間7年間の確実な発展が期待できる。実現すれば、集合的記憶や感情をめぐる東アジアの蓄積が、国際社会の多様な和解の努力と対等に接合され、我が国の歴史認識に関する新段階を先導することになるだろう。 若手研究者の人材育成計画も具体的で大きな規模のものであり、参画する若手研究者が一つの研究プロジェクトのなかで問題意識を共有しつつ自立していくことで、日本社会の新しい自己認識を支える研究者集団が形成されると期待できる。